

総合的病害虫・雑草管理（IPM）を実践していますか？

～病害虫及び雑草の徹底防除から、さまざまな手法による管理・抑制への転換～

胆振農業改良普及センター

総合的病害虫管理(Integrated Pest Management:IPM)が国際的に提唱されています。

IPMとは、従来の考え方(発生対応型、化学合成農薬中心に根絶する)から病害虫以外には、環境負担の少ない農薬の選択や、耕種的な防除など、図にある手段を総合的に講じて、人の健康へのリスク、環境負荷を軽減する管理方法です。

GAP手法の構成要素として、IPMの実践が求められています。



農業者・消費者にとってのメリット

総合的病害虫・雑草管理(IPM)の手段として、経済的に受け入れ可能なものを選択することにより、従来の徹底防除よりも化学合成農薬の使用回数が低減となる事例が多い。

消費者に信頼される農作物の生産や、環境への配慮により持続性のある生産体制を確保できるというメリットがあります。